

令和3年度宮津市5月補正予算(案)の概要

会 計	補正前予算額	補正予算額	計	対前年同期比	
				伸 率	R2当初予算額
	千円	千円	千円	%	千円
一 般 会 計	10,850,386	120,150	10,970,536	△2.5	11,252,292
特 別 会 計	5,494,152		5,494,152	△1.2	5,560,601
公 営 企 業 会 計	3,105,601		3,105,601	1.2	3,069,402
合 計	19,450,139	120,150	19,570,289	△1.6	19,882,295

<5月補正予算(案)の概要>

- 一般会計 : 新型コロナウイルス感染症対策として、低所得の子育て世帯への生活支援（ふたり親世帯分）を行うほか、国等の事業採択を受け、テレワークやワーケーションによる都市部との交流拠点づくり及び持続可能な観光地域づくりに向けた観光がもたらす地域経済波及効果分析等に係る経費を計上するもの。

令和3年度一般会計歳入歳出補正予算【5月補正・第2号】

歳 入		(単位：千円)			
款	区 分	補正前の 予算額	補 正 予算額	補正後の 予算額	備 考
1	市 税	2,289,284		2,289,284	
2	地 方 譲 与 税	80,000		80,000	
3	利 子 割 交 付 金	1,600		1,600	
4	配 当 割 交 付 金	12,100		12,100	
5	株式等譲渡所得割交付金	12,100		12,100	
6	法 人 事 業 税 交 付 金	8,500		8,500	
7	地 方 消 費 税 交 付 金	410,000		410,000	
8	ゴルフ場利用税交付金	6,600		6,600	
9	環 境 性 能 割 交 付 金	10,600		10,600	
10	地 方 特 例 交 付 金	137,900		137,900	
11	地 方 交 付 税	3,931,000		3,931,000	
12	交通安全対策特別交付金	2,400		2,400	
13	分担金及び負担金	100,924		100,924	
14	使用料及び手数料	279,407		279,407	
15	国 庫 支 出 金	1,229,374	118,150	1,347,524	地方創生テレワーク交付金 55,000 地方創生臨時交付金 55,000 子育て世帯生活支援特別給付金事業費補助金等 8,150
16	府 支 出 金	862,651		862,651	
17	財 産 収 入	44,747		44,747	
18	寄 附 金	151,000		151,000	
19	繰 入 金	146,257		146,257	
20	繰 越 金	1		1	
21	諸 収 入	109,621	2,000	111,621	地域活性化センター助成金
22	市 債	1,024,320		1,024,320	
歳 入 合 計		10,850,386	120,150	10,970,536	

歳 出		(単位：千円)			
款	区 分	補正前の 予算額	補 正 予算額	補正後の 予算額	備 考
1	議 会 費	133,755		133,755	
2	総 務 費	1,650,035	110,000	1,760,035	関係人口創出・拡大事業 108,800 副業・兼業プロ人材活用事業 1,200
3	民 生 費	3,263,040	8,150	3,271,190	子育て世帯生活支援特別給付金事業
4	衛 生 費	981,788		981,788	
5	労 働 費	3,475		3,475	
6	農 林 水 産 業 費	414,394		414,394	
7	商 工 費	243,555	2,000	245,555	地域観光経済循環分析事業
8	土 木 費	1,310,603		1,310,603	
9	消 防 費	424,618		424,618	
10	教 育 費	974,724		974,724	
12	公 債 費	1,441,913		1,441,913	
13	予 備 費	8,486		8,486	
		0		0	
歳 出 合 計		10,850,386	120,150	10,970,536	

令和3年度 宮津市5月補正予算(案) 主要事業の概要

※事業の番号に○がついているものは、「令和3年度5月補正予算 事業等説明資料」での説明があるもの。

■ 新型コロナウイルス感染症対策

(単位：千円)

	事業名	令和2年度 最終予算額	令和3年度 既決予算額	今回補正額	財源内訳		事業の概要	課名
					特定財源	一般財源		
■ 子育て支援対策								
○ 1 充実	新型コロナウイルス感染症対策給付金事業	1,846,900	15,850	8,150	国 8,150	0		
	子育て世帯生活支援特別給付金事業 (ふたり親世帯分)	—	15,850	8,150	国 8,150	0	◆子育て世帯生活支援特別給付金(ふたり親世帯分) 8,150千円 ・給付対象 令和3年度分の住民税非課税世帯等 ・給付額 児童一人当たり一律5万円	社会福祉課

■ 一般会計に係る補正(新型コロナウイルス感染症対策以外)

(単位：千円)

	事業名	令和2年度 最終予算額	令和3年度 既決予算額	今回補正額	財源内訳		事業の概要	課名
					特定財源	一般財源		
■ 若者が住みたいまちづくりプロジェクト								
○ 2 充実	テレワーク・ワーケーションによる都市部 との交流拠点づくり (関係人口創出・拡大事業、副業・兼業 プロ人材活用事業)	5,500	2,000	110,000	国 110,000	0	◆市内まるごとワーケーション事業 110,000千円 ・前尾記念テレワーク総合センター(仮称)整備 90,000千円 ・都市部からの企業等の誘致と進出支援 20,000千円 ※ 国「地方創生テレワーク交付金」の採択に伴うもの	企画課
■ 宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト								
○ 3 新規	持続可能な観光地域づくりに向けて (地域観光経済循環分析事業)	—	—	2,000	諸 2,000	0	◆地域観光経済循環分析事業 2,000千円 ・観光がもたらす経済波及効果の見える化に向けた調査・分析 ※ 地域活性化センター助成金の採択に伴うもの	商工観光課

令和3年5月臨時会 令和3年度5月補正予算 事業等説明資料【一般会計(第2号)】

(単位:千円)

事業名	子育て世帯生活支援特別給付金事業 (ふたり親世帯分)	充実	補正予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・R2.6～ : 子育て世帯臨時特別給付金の支給 (対象: 児童手当受給世帯) [国制度] ・R2.10～ : 子育て世帯生活応援給付金の支給 (対象: 住民税非課税世帯) [市独自制度] ・R3.3.23 : 国の令和2年度新型コロナウイルス感染症対策予備費の当該給付金への活用を閣議決定 		8,150	8,150				0
			(参考)補正後予算額	特定財源の内訳				
			24,000	国	子育て世帯生活支援特別給付金事業費補助金	7,500	国	子育て世帯生活支援特別給付金事務費補助金
補正理由及び目的・目標	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得のふたり親世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給する。		(参考)前年度予算額					
			—					
事業概要	<p>■ふたり親世帯生活支援特別給付金 8,150千円 住民税非課税世帯及び新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変した世帯に対して給付金を支給する。</p> <p>○ふたり親世帯生活支援特別給付金 (扶助費) 7,500千円 高校生までの児童1人あたり50,000円 【支給対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度分住民税 (均等割) 非課税世帯 ・新型コロナウイルスの影響により家計が急変し、R3年度分住民税 (均等割) 非課税水準に下がった者 <p>○ふたり親世帯生活支援特別給付金 (事務費) 650千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給付金支給に係る人件費、振込手数料ほか 		総計重点プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	—				
			施策分野	子育て支援				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			期待される効果等	家計への支援を行うことにより、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響に伴う市民の経済的負担を軽減する。				
			 					
担当部署			健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係		45-1621		1	

事業名	テレワーク・ワーケーションによる都市部との交流拠点づくり (関係人口創出・拡大事業、副業・兼業プロ人材活用事業)	充実	補正予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、新しい働き方として関心が高まるテレワークやワーケーション等は、都市部から地方への新たなひとの流れとなっている。 働き方の新しいスタイルが定着し、空いた時間を活用した副業・兼業の動きの広がりが見られる。 こうした中、本市では、R3.1に中間支援組織「MIYAZU未来デザインセンター」を設立するとともに、テレワーク等に取り組むことができる環境づくりに着手。 		110,000	110,000				0	
			(参考)補正後予算額	特定財源の内訳					
			112,000	国	地方創生テレワーク交付金		55,000		
補正理由 及び 目的・目標	市内のテレワークやワーケーションの中核拠点として遊休施設(旧前尾記念文庫)を活用し整備・再生することで、市内のワーケーション等拠点のネットワーク化を図るとともに、都市部からの新たな人の流れを創出し、関係人口の創出・拡大・深化を図る。 (国の地方創生テレワーク交付金の交付決定に伴うもの)		(参考)前年度予算額						
			5,500						
			総計重点 プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト					
事業概要	<p>■市内まるごとワーケーション事業 110,000千円 都市部等地域外の人を受け入れる拠点の整備や、受け入れやすくする場づくりを進めることで、地域内外の人々の関係を深め、交流・協働することにより地域の自信と誇りを醸成し、魅力ある「関わりたい・住みたい」まちづくりを目指すもの。</p> <p>◆「前尾記念テレワーク総合センター(仮称)」の整備 90,000千円 旧宮津市立前尾記念文庫の建物を長寿命化するとともに、ワーケーションオフィスとコワーキング兼交流イベントスペース施設を設置して、都市部と地域をつなぎ関係性を深める拠点とする。 ○実施設計 ○センター・駐車場整備工事 ○備品購入</p> <p>◆都市部からの企業等の誘致と進出支援 20,000千円 都市部の企業等へのプロモーションや市内でのワーケーションのネットワーク化等による受け入れ体制を構築し、都市部からの企業等の進出を促進・支援する。また、副業・兼業プロ人材を受け入れ、プロモーション戦略構築・実施への助言を受けて、取組を加速・活性化させる。 ○都市部へのプロモーション(都市部企業へのアンケート、プロモーション、オンラインイベント等)の展開やお試しワーケーションの実施 ○企業進出支援金(最大100万円/社) ○アドバイザーの受入れ謝礼等</p> <p><国の地方創生テレワーク交付金について> ・国の令和2年度第3次補正予算で創設されたテレワークの推進による地方への新たなひとの流れを創出する地方公共団体の取組を支援する内閣府の交付金。 ・京都府内で3市(宮津市、京都市、京丹後市)が採択されたところ。</p>		テーマ別 戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり					
			施策分野	関係人口創出・拡大					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			期待 される 効果等	関係人口の創出・拡大と若者の定着促進による地域の担い手の確保 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数 R元 44人 → R7 延べ300人 ・ワーケーション等拠点数・利用企業数 R元 -箇所 → R7 5箇所10社					
			担当部署	企画財政部 企画課 定住・地域振興係			45-1607	2	

事業名	持続可能な観光地域づくりに向けて (地域観光経済循環分析事業)	新規	補正予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	令和3年度から、新たな「宮津市総合計画」がスタートする中、より効果的な「稼ぐ観光」に繋げるためには、観光産業に係る経済波及効果の現状を把握・分析する必要がある。		2,000				2,000	0
			(参考)補正後予算額	特定財源の内訳				
補正理由 及び 目的・目標	「域内調達率」等の算出により本市の観光産業構造を明らかにし、観光がもたらす経済波及効果を『見える化』するとともに、コロナ禍における観光客の行動変容についても調査を行うことで、観光におけるニューノーマル(新たな観光のあり方)も見据えた「宮津市観光戦略プラン」の策定(R3年度策定予定)につなげる。 (一般社団法人 地域活性化センター助成金の交付決定に伴うもの)		2,000	諸	地域活性化センター助成金		2,000	
			(参考)前年度予算額					
事業概要	■地域観光経済循環分析事業 2,000千円 観光がもたらす経済波及効果を見える化するため、次のとおり観光客、観光関連業者を対象に調査・分析を行う。 ○域内調達率の算出・分析 市内の観光関連事業者(飲食事業者、宿泊事業者等)を対象に、経費や域内調達率等のアンケートを実施し、市内における域内調達率を算出する。 ○観光客の消費単価の算出 観光客を対象に、顧客満足度や消費額に関するアンケートを実施し、観光客の消費単価を算出する。 ○観光収入額と経済波及効果の検証 算出した域内調達率と消費単価に観光入込客数の結果を加え、宮津市の観光収入額と経済波及効果の検証をする。 ○観光施策の検討 調査結果や算出したデータをもとに観光収入源の向上を目的とした効果的な事業の検討を行う。 ○観光の推進による効果的な仕組みづくりにつながる基礎資料の作成 観光収入額の向上を目的とした効果的な仕組みづくりにつながる基礎資料の作成を行う。	総計重点 プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト					
			テーマ別 戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
			施策分野	観光振興				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			期待される 効果等	新たな観光戦略を策定することで、計画的・効果的な観光施策を講じるもの。 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ○観光交流人口 R元:321万人⇒R7:350万人 ○観光宿泊客数 R元:64.9万人⇒R7:80.0万人 ○外国人観光宿泊客数 R元:5.4万人⇒R7:10.0万人 ○観光消費額 R元:109億円⇒R7:125億円				
			担当部署	産業経済部 商工観光課 観光係		45-1625		3

